



第1回連携大学学長・学部長会議では連携事業における今後の方向性が話し合われた

「口腔医学」確立 と教育体制整備

文科省「大学間連携戦略」に採択

歯科・医科系8大学が連携

「口腔医学」の学問体系の確立と、時代にマッチする医学・歯学統一の教育を目指すため、八つの大学が手を結んだ。福岡歯科大学を代表校として、九州歯科大学、北海道医療大学、岩手医科大学、昭和大学、神奈川歯科大学、鶴見大学、福岡大学が連携する「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」が文科省の平成20年度戦略的大学連携支援事業「大学間連携戦略」に採択された。

「口腔疾患の予防・治療」を行う医療人の育成は「歯学」から、「医学」の学問体系の中に確立した

福岡歯科大が代表

「口腔医学」により行うのが最善との考えから、第一段階として、医歯連携による「口腔医学」の学問体系の確立とその教育体制の育成を目指す。実施体制としては、各連携校の学長・学部長、担当代表者、職員による「連携大学学長・学部長会議」や「担当者会議」、「連携事務会議」などを実施。広域連携の地勢的問題をクリアするために高速ネットワークシステムにより行うのが最善との考えから、第一段階として、医歯連携による「口腔医学」の学問体系の確立とその教育体制の育成を目指す。実施体制としては、各連携校の学長・学部長、担当代表者、職員による「連携大学学長・学部長会議」や「担当者会議」、「連携事務会議」などを実施。広域連携の地勢的問題をクリアするために高速ネットワーク

ワークシステムのテレビ会議を設けて情報・認識の共通化を図る。評価機構として、選任された教職員及び学外の有識者らによる「口腔医学自己点検・評価委員会」を設置し、各大学にフィードバックしていく。また、国内・国際シンポジウムの開催も検討する。将来的には同連携事業を核として、より大きな連携を形成し、医師・歯科医師の在り方や、時代にマッチする医学・歯学教育体制を再検討するのが目的。なお、第1回連携大学学長・学部長会議は9月に開かれており、連携事業の推進や実施方法について協議された。第2回会議は、来年の1月10日に昭和大学で開かれる。事務に関する統括は福岡大連携企画室が行う。

第1579号

日本歯科新聞

2008年(平成20年)

11月4日

＜発行所＞
日本歯科新聞社
〒101-0061
東京都千代田区三崎町2-20-4
電話03(3234)2475
FAX03(3234)2477
http://www.dentalnews.co.jp/
jdn@dentalnews.co.jp
年間購読料18,900円(税・送料込)
郵便口座番号00120-5-130369
厚生労働省記者クラブ加盟社